

2. 環境調査結果

2.1 設置計測器による連続観測（通年調査）

年間を通じて St. 2' において水温、塩分、クロロフィル、濁度、流向、流速の連続観測を行った結果を図7～10に示した。

いずれの項目でも通年に渡って半日の周期が認められた。水温は、4月の開始時点では、20℃以下であったが、6月上旬には、22℃以上で10月上旬まで維持した。10月中旬から減少傾向を示した。10℃以下の水温は12月までは見られなかったが、1月以降はほぼ10℃を保って推移していた。

塩分は、潮汐による河川水の低塩分が周年で観測された。この河川水による低塩分を除くと、8月中旬から9月上旬を除いて、ほぼ30前後だった。8月中旬から9月上旬の塩分は、局所的に20を下回る値が観測されたが、10以下になることは少なかった。この期間の低塩分については、「2.2 設置計測器による連続観測（共通調査）」「(3)今年度の特異気象」で記載する台風および豪雨によるものであると考えられた。

クロロフィルは上記の低塩分の期間と重複する8月中旬から9月中旬で20 $\mu\text{g/L}$ 以上が観測された。また、冬季は低い値で推移していたが、2月中旬以降に上昇傾向が見られた。

濁度は、5月中旬から5月下旬にかけてと8月上旬から8月中旬に400 FTU 以上を記録した。なお、5月中旬から5月下旬では濁度とクロロフィルに相関は見られなかったが、8月上旬から8月下旬では相関がみられ、低塩分の期間と重複していた。冬季は他の季節に比べて低い値で推移していた。

流向は、5月～8月に見られた西～北への流れが9月以降で観測されなくなり、流れの季節変動が認められた。流速は、月齢に伴う周期が認められ、11月以降で流速が低下する傾向が見られた。本実施場所はノリ養殖が盛んな海域であり、10月～4月はノリ養殖施設が設置される。これにより、流況が変化すると推測された。

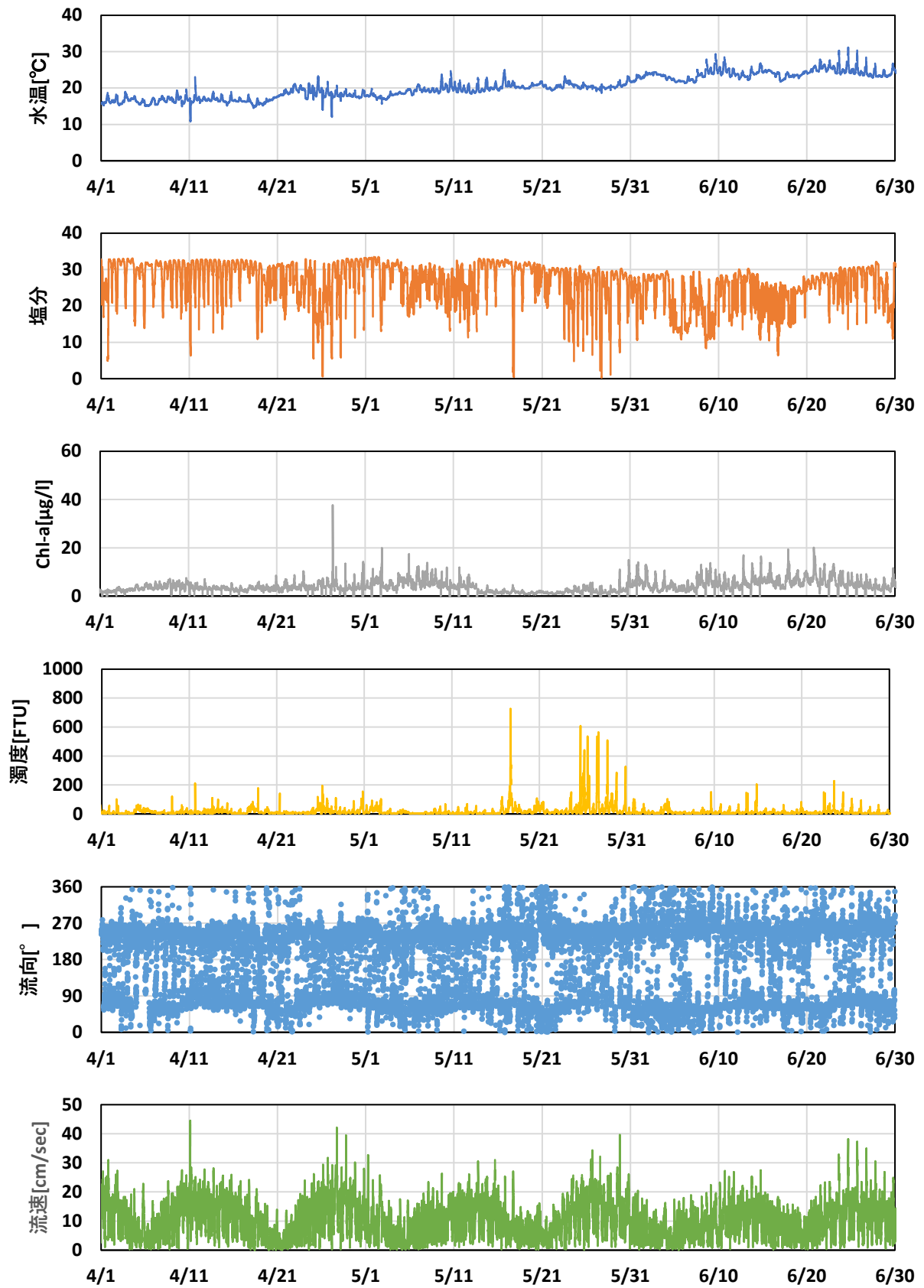


図 7 連続観測結果 (4 月～6 月)

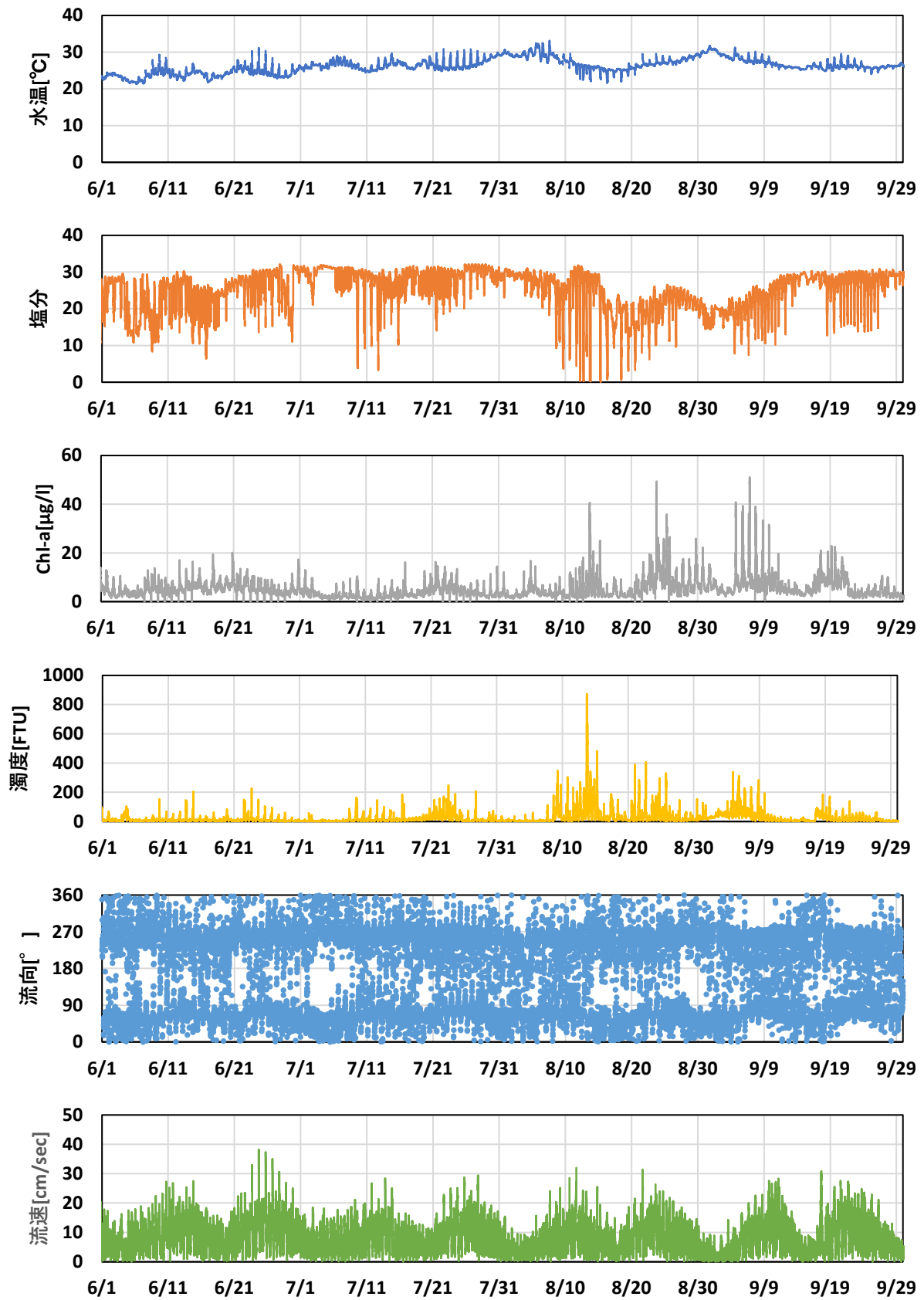


図 8 連続観測結果 (7 月～9 月)